

大泉保育福祉専門学校 卒業の認定に関する方針

ディプロマポリシー（卒業認定方針）

保育科

1. 保育に関する専門的知識・技術を習得し、実践の場で応用することが出来る。
2. ゼミ活動やボランティア等に積極的に参加し様々な事に気づき、人と協力をする事の大切さを学ぶと共に自分なりの考えを持ち表現する。
3. 2年間の学習で保育の目的や対象を理解し、実習を通して現状や課題を知り、子どもや保護者一人一人に対して必要な支援ができるようになる。

福祉科

1. 科学的根拠に基づいた情報の分析ができ、課題抽出から利用者のニーズを引き出せる介護過程の展開ができる。
2. 利用者や家族、校外活動を通し、様々な人との出会いからコミュニケーション能力を身につけることができる。
3. 2年間の介護福祉教育のまとめとして事例研究を行い、発表できる。

卒業要件（必修・選択科目別の必要単位数）

保育科

授業科目区分		取得単位数
教養科目	必須科目	2 単位
	選択科目	6 単位以上
	教養合計	8 単位以上
専門科目	必須科目	5 4 単位
	選択科目	6 単位以上
	専門合計	6 0 単位以上
合 計		6 8 単位以上

福祉科

授業系列区分		取得単位数
人間と社会	必須科目	1 0 単位
	選択科目	4 単位以上
	人間と社会合計	1 4 単位以上
介護	必須科目	4 4 単位
	選択科目	4 単位
	介護合計	4 8 単位
こころとからだのしくみ	必須科目	2 0 単位
医療的ケア	必須科目	4 単位
合 計		8 6 単位以上

卒業判定会議を開催し、各学生の単位取得状況を確認した上で、卒業認定を行っている。